

## 大相撲ドス来い!

11日から大相撲夏場所が始まります。大の里の綱取りに関心が集まっています。私は中学生の時には栃錦

のファンでした。若乃花が台頭して「栃若時代」と呼ばれる様になります。二人の熱戦にはいつもドキドキしたものです。その後「大鵬」があっという間に横綱になり次々と大記録を打ち立てました。私が残念なのは42連勝だったかな? 「戸田」に敗れて連勝が止まりました。行司の差し違えだったことが後に判りましたが当時はビデオ判定もなく、やむを得なかったのでしょうか・・・その後は「白鵬」の独り舞台で大鵬の記録を次々と破りました。「大の里」に期待します。

2025・5・4 今日のニュースによれば  
「大の里」は調子を取り戻

したようです。これで綱取りへの期待が高まります。12 勝で優勝なら文句なしですが 13 勝でも昇進すると思います。11 日からの 15 日間は楽しみです。

2025・5・6

今日から楽しみにしていた大相撲夏場所が始まりました。大の里は先場所負けている若元春と対戦。強烈な両手突きから相手を起こし圧倒しました。明日はこれまた先場所、本割で敗れている高安が相手。勝って欲しいのですが負ければ綱取りに少しブレーキがかかります。何としても勝って貰いたいものです。

2025・5・11

大の里は三連勝、先場所で負けた若元春、高安に勝ち曲者の阿炎も撃破しました。今日は元気な王鵬ですが勝てば波に乗るでしょう。注目の力士は大の里以外にも多くいます。尊富士、伯桜鵬、王鵬などで

す。どんどん活躍して欲しい。琴桜はどうしたのでしょうか。私的な意見ですが桜の字が櫻になっているのが重すぎるのではないか。「櫻を桜」に変えてみたらどうかと思います。

2025・5・14 大の里が七連勝、伯桜鵬も同じ。いずれ対戦するでしょう。琴櫻が今日も負けてしまいました。こちらのほうは謝罪しなくても良いのかな。櫻を桜に変えないと？

2025・5・17

大の里 10 日目も勝ち 10 連勝。残り 5 日間は強敵ぞろい。特に今日の若隆景が一番きついのではないかと思います。大けがで幕下まで落ちて這い上がってきた実力者で今場所は好調。大の里の優勝は今日の試合で決まるといっても過言ではないと考えています。兎に角今日は大の里に勝って欲しい。

2025・5・21

大の里が 13 連勝し横綱になることが決まりました。  
今日も勝ちましたので明日も勝って全勝優勝をして  
貰いたいです。伯桜鵬、王鵬、尊富士は崩れてしま  
いましたが来場所以降に期待しましょう。夏場所は  
明日で終わりますがボツボツ書いていきます。

2025・5・24 大の里が横綱になりました。  
大変喜ばしい事です。これからが大事です。  
引き続き応援していきます。夏場所も終わり 7 月ま  
で 2 か月あります。大相撲力士名鑑を購入しました  
ので参考にしながらボツボツか書いていきます。

2025・5・28

今日から明治時代からの大相撲力士名鑑を辞書にし  
て横綱や著名な力士を紹介してみます。 明治時代  
の横綱では「梅ヶ谷藤太郎」がいます。明治時代前  
期の第一人者です。身長 176 センチ、体重  
は

105 キロとあまり大きくは有りませんが 58 連勝して  
いますし 116 勝 6 敗の成績を残しています。83 才  
まで生きています。これは横綱の長寿記録です。一  
斗酒の酒豪と言われています。



2025・5・31

梅ヶ

谷藤太郎

白鵬が日本相撲協会を退職しました。優勝45度をは  
じめ数々の大記録を打ち立てたことは記憶に新し  
いところです。貴乃花も大横綱ですが退職に追い込  
まれています。いろいろなことが言われていますが根  
源は日本相撲協会の排他的な体質にあると思いま

す。特に

H 理事長の地位へのしがみつく姿勢にも問題がある  
と思っています。地位を脅かす人間が怖いのでしょ  
う。

2025・6・4 明治の横綱では「太刀  
山峰右衛門」がいます。富山県の出身で怪力の持ち  
主です。「四十五日の鉄砲」というあだ名がついてい  
ますが、これは一月半「一突き半」という意味です。  
二突きではもたないとのシャレです。そのくらい強  
かったとのことです。四十三連勝と五十六連勝の記  
録を持っています。横綱時代の勝率は 0.966 で史上一  
位です。



2025・6・13 「土俵の魅力と

秘話」NHKで40年間実況放送に携わっている藤井康生さんの本で非常に面白いです。今読んでいるところですが後日、紹介したいと思います。

2025・6・13

明治の横綱では「西の海嘉治郎」がいます。鹿児島  
の出身で横綱になる前は源氏山と名乗ってしまし

た。仕切りが長く、その間にお客がトイレに立つため「小便小僧」とのアダ名がついたほど。在位勝率は49勝19敗。横綱在位は5場所と短い。

2025・6・18



(西の海嘉治郎)

海 の 西 綱 横 士 力 京 東

明治時

代ではあまり馴染みがないので大正時代の横綱を紹介し

ます。大錦卯一郎。大阪の出身で横綱在位は5年8ヶ月。稽古場ではそれほど強くなかったが本場所の相撲で力を発揮「一番相撲の名人」と言われた。左を差して一気に寄るか、つり出す速攻相撲により栃木山と共に近代相撲の先駆者と言われる。 2025・6・22



大錦卯一郎

第27代横綱・栃木山守也は栃木県の出身です。身長

172 センチ 103kg の小柄でした。横綱では史上最軽量です。左利きで左はず右おっつけを駆使し相手にまわしを取らせず自分もまわしを取らず徹底した鋭い押し相撲を完成させました。引退から 6 年後

年寄「春日野」を襲名していましたが「第 1 回全日本力士選士権」に出場し優勝しています。

2025・6・28



栃木山守也

横綱・常の花寛市は岡山市の出身。身長 178 センチ  
体重 113kg。優勝 10 回。きびきびした相撲振りで櫓  
投げ、上手投げと得意技が華やかで人気があった。  
引退後の活躍も見事で「春秋園事件」の解決にも奔  
走した。後に出羽の海理事長として敏腕を振るっ  
た。協会の在り方が問題となった際、割腹自殺を図  
った。春秋園事件とは 1932 年 1 月 6 日、西方の幕内  
力士全員を含む出羽の海部屋系の関取、幕下力士合

わせて 32 名が大井町の料亭「春秋園」に集合、力士  
の人権と生活の擁護を旗印に相撲道の改革を訴  
えた。後に相撲協会は一時分裂をする。

2025・7・3



(C) 公益財団法人日本相撲協会 常の花寛市横綱、玉錦  
三右エ門は高知市の出身で 173cm 体重

139kg です。素質には恵まれていなかったが生来の負けん気と血の出るような猛げいこで右差し一気の出足を身に付けて昇進した。優勝9回27連勝と玉錦時代を迎えようとした時、双葉山が登場し世代交代が行われた。虫垂炎のため現役のまま他界。後の玉の海も人気・実力が最高潮の時、虫垂炎が悪化し他界したことは記憶に新しい。

2025・7・5



玉錦三右エ

門 横綱の紹介も「昭和の時代」になりますので少しは

「アッ知ってる」と言う人が出てくるのでしょ  
うね。今は名古屋場所が開かれていますので、そちら  
を話題にします。大の里は期待通り2連勝です。も  
う一人の横綱・豊昇龍は今日負けました。先が心配  
ですね。新入幕の草野は連勝で期待がもてます。若  
隆景は今場所も元気そうですから大関への足がかり

を付けると思います。毎日テレビを観て最頂の力士を応援しています。

2025・7・14

豊昇龍が休場しました。ケガが原因とのことですがどうでしょう?何度も指摘されてきたことですが大甘の昇進だったことは認めざるを得ません。大の里は1敗しましたがなんとか頑張ってくれると思います。期待した力士が負けてしまうので残念な思いが強まります。元大関の御嶽海が元気そうですが上位戦になった時にどこまで踏ん張れるか注目します。

2025・7・19

大の里はどうなっているのでしょうか?今日も平幕に敗れ金星4個目を配給しました。余りにも精神的に弱すぎる。精神病を患っているとしたか思えない。小学生でも判る「やってはいけない4項目」を何故繰り返すのか?最強横綱ではなく最弱横綱と言われても反論できない。

2025・7・24

名古屋場所は琴勝峰が13勝2敗で平幕優勝を  
しました。安青錦、草野との優勝争いは見ごた  
えがありました。いずれも大器との評価がされ  
ておりこれからが楽しみです。残念なのは横  
綱・大関のふがいなさです。場所前は大の里の  
独走が予測されましたが、腰高・引き癖・土俵  
際の詰め甘さが克服できず4個の金星を提供  
しました。精神的な弱さも見受けられました。  
稽古不足を指摘する親方もいました。これらを  
猛稽古と知恵で克服できれば大横綱と言われる  
ようになるものと確信します。注目力士の活躍  
を想像すると次の9月場所は楽しみです。

2025・7・29

昭和の横綱の中でも群を抜いているのは双葉山  
です。45度の優勝を誇る白鵬も双葉山を敬愛し

その域に達するよう努力していました。「後の先」は双葉山の代名詞のようなものです。大分県宇佐市の出身です。身長 179 センチ体重 128kg ですから今の力士と比較すれば平均以下です。69 連勝は破られていません。双葉山の偉大さは常に精進して精神と土俵を一体化した相撲道の完成を目指したところにあると言われて

います。

引退後は時津風理事長として協会運営で力を発揮しました。

2025・8・3



双葉山定次

**羽黒山政司** 新潟市出身の横綱です。兄弟子双葉山の陰に隠れた感じもありますが強さは一級品で序の口から新入幕まで各段で優勝し各一場所でその段を突破した快記録の持ち主です。戦後の大相撲ドン底時代を背負って頑張りました。優勝は七回。179cm・129kg は双葉山と同じです。

2025・8・9



**羽黒山政司**

## 安芸の海節男 広島市南区宇品の出身。

177cm・128kg と体は当時の平均でありあまり大きくないが「左差し頭を付けて右からおっつける」うまさは定評があった。優勝は関脇時代の1回だけだが双葉山の70連勝を阻んだ一番は有名な話。病気であり活躍しないまま引退。



2025・8・15

安芸の海節男